

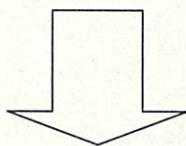
資料 1

東区まちづくり懇話会 協議項目

1 まちづくり懇話会からの提案に対する取組み

(1) 地域防災合同訓練事業【拡充】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	2 誰もが安全で安心して過ごせるまち
	重点的テーマ	3 災害に強いまちづくり
現状・背景・地域ニーズ	校区で行う防災訓練を支援しているが、実施校区の固定化が見られ、過去に実施したことのない校区も新たに行なうことが望ましい。また、熊本地震を経験し、訓練の重要性が高まっている。	
課題	<p>過去に訓練を実施したことのない校区に対して、そのノウハウや実施することによる効果を伝える場がなかったため、実施内容や準備などの方法が分からぬことが、新規に取り組む校区が少ない原因の一つと考えられる。</p> <p>また、熊本地震を経験し、自助・共助・公助を意識した防災訓練のあり方を検討する必要がある。</p>	
委員提案	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における要介護者の支援のあり方を考える必要があるのではないか。 ・避難者の中には避難所に居続けることが困難な場合があるため、福祉避難所などへの移動を想定してほしい。 ・福祉的視点を取り入れた地域防災合同訓練を実施して欲しい。 ・市として、市対策本部と区対策部との連携など、実際に則した訓練を行ってもらいたい。 	



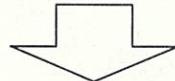
対応方針・新たな取組み	・更なる防災意識の啓発・高揚を図るため、東区内の自治協の構成団体等を対象に全体会議（勉強会等）を開催する。
	・新たに「熊本地震の検証及び熊本市地域防災計画改定検討委員会」における検討結果を踏まえ、熊本地震の経験を生かしながら福祉的視点を取り入れて、より実践的な地域防災訓練を推進する。
※参考	・市としては、現在も行っている大規模災害参集訓練等を活用し、今回の反省を振り返りながら、市対策本部と区対策部の訓練に取組む。

2 区提案の取組み

(1) 地域情報受発信充実事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人とがつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
現状・背景・地域ニーズ	<p>行政は、市政だよりやホームページなどの広報媒体を使い、また、地域でも自治会回覧や町内掲示板などにより、住民に情報を提供しているが、それらの情報は区民にうまく伝わっていない現状にある。</p> <p>区政や地域のまちづくりを推進していくためには住民との情報共有が不可欠であり、情報提供のあり方について検討する必要がある。</p>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 「ひがっぴいだより」については、「見やすくなった」、「友人にあげたい」等の評価を少しずついただいている。しかし、評価されるのは高齢者が主であり、また大学生・高校生は存在を知らないとの意見もある。 若年層の情報収集方法については、興味のあるものを除いては、webで入ってくる情報や口コミであることから、若年層へ届く情報発信方法の検討が必要である。 	
対応方針・新たな取組み	<ul style="list-style-type: none"> 3期目となる新たな広報サポーターを公募・養成し、より身近な地域情報を積極的・効果的に、特に若年層に向けた「伝わる」広報活動を行っていく。 東区ホームページやFacebookページでは、より多くの方に見ていただくために区民のニーズに則した情報を「わかりやすく」掲載するなど情報発信の仕方を工夫する。 	

懇話会意見	<ul style="list-style-type: none"> 回覧以外にも効率的な周知が出来ないか、情報伝達方法を検討して欲しい。
-------	--

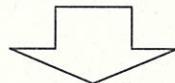


意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> 回覧が情報伝津方法として有効ではあるが、今後、町内放送を含め、他の手法について研究していきたい。
--------	--

(2) 東区民文化スポーツ交流事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人とがつながり世代を超えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
現状・背景・地域ニーズ	<p>平成 25 年度から東部地区サッカー大会を基盤に 18 校区を対象に東区小学校交流サッカー大会を、平成 26 年度から体協と共にミニバレー大会を開催している。また、「ちびっこまちづくり相撲大会」・「東部地区駅伝競走大会」・「中村汀女顕彰俳句大会」・「ピアクレス七夕まつり笹飾りコンクール」などの地域主催行事へ区長賞（賞状、盾等）の提供を行っている。</p>	
課題	<p>サッカー大会、バレー大会とも、未だ全校区 18 チームの参加には至っていない。区民スポーツイベントを盛り上げていくためにも両大会とも、全校区の参加の実現に向けて関係団体の協力を得ながら区民への大会参加の呼びかけ等の工夫を行っていく必要がある。</p> <p>また、平成 29 年度の大会開催については地震の影響による会場施設の復旧状況を確認しながら、開催時期等について関係団体等と協議する必要がある。</p>	
対応方針・新たな取組み	<p>サッカーやミニバレー大会の開催については、全 18 校区が参加できるよう関係団体の協力を得ながら開催時期やスケジュールの調整を行うとともに、体協長連絡会等で新規競技についても検討を行う。また、地域主催行事への区長賞（賞状、盾等）の提供は継続して行う。</p>	

懇話会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・全校区参加出来ないのは、大会が重なっていることも原因だと思われるので情報収集して調整をして欲しい。 ・グランドゴルフなど他の種目も大会を開催できないか協議して欲しい。 ・コミュニティ活動参加促進のために自治会や老人会等に意見を求めて、他の種目にに対する区長賞の提供を考えて欲しい。
-------	---

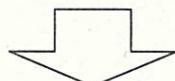


意見への対応	<p>H29 年度から新設されるまちづくりセンターを通じて地域のスポーツ文化行事の開催状況について情報収集し、「熊本市東区民文化スポーツ交流事業に係る東区長賞等の授与に関する事務取扱要項」に適合する行事については新たに区長賞を授与する。また、センターが集約した情報を区内全域に情報提供することで新たな地域交流の機会をつくり、さらなる地域行事の発展に寄与し、区民交流を推進していく。</p>
--------	--

(3) 子育て支援ネットワーク活性化事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 子どもの育成環境づくり
現状・背景・地域ニーズ	<p>少子化および核家族化に伴い、子育て世代の孤立化が増加している。 住み慣れた地域で安心して子育てができるまちづくりを目指して、校区単位の子育て支援ネットワーク組織を育成し、子育て支援活動を行っているところであるが、更なる子育て支援活動の充実や子育て情報発信の充実が望まれている。</p>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> マップ作成を機に休止していたネットワーク活動を再開するなど一定の成果はあったが、校区差は大きく、活動の定着化及び東区全体での活動活性化のため効果的な働きかけを継続していく必要がある。 子育て支援ネットワークの活動が地域住民に十分認知されていない。 ネットワークのメンバーが主に子育て支援に携わる団体等で構成されており、現に子育て中の保護者の意見を活動に反映させることが難しい。 	
対応方針・新たな取組み	<ul style="list-style-type: none"> 各校区子育て支援ネットワークにおいて子育てマップを活用した子育てサークルの行事を1回以上企画、実施し、その活動を「活動事例集」としてまとめる。 全小学校区に子育てサークルの自主グループ育成を行うなど子育て支援の先進地である岡山市の視察を行い、東区の子育て支援及び子育て支援ネットワーク活動の活性化推進の参考とする。また、地域の子育て支援活動において、子育て中の保護者の主体的な参加や参画を進めていく上での参考とする。 	

懇話会意見	<p>・情報発信については、受信出来ているのか、又は、受信していても支援者（団体）にアプローチ出来ない人がいるので対策が必要と思われる。</p>
-------	--



意見への対応	<p>「こんにちは赤ちゃん事業」により、生後4ヶ月までの乳児のいる全家庭の訪問を実施している。（4ヶ月までに訪問できなかった家庭についても訪問、電話、面接等で全数フォロー。） また、区の実施する幼児健診の受診率は、1歳6か月児健診98.7%、3歳児健診97.6%（いずれも平成27年度）であり、ほぼ全数の家庭と面接を実施している。 これらの事業を通して、情報の入りにくい家庭や孤立傾向にある家庭については把握を行っており、健診未受診者へのフォローも含め、校区担当保健師が個別での丁寧な支援を今後も継続していく。</p>
--------	---